

## 愛有会 運営事業所

### 久米川病院

東京都東村山市本町 4-7-14  
TEL. **042-393-5511**

介護老人保健施設

### 久米川 通所リハビリテーション

東京都東村山市本町 4-7-14  
TEL. **042-313-0710**

訪問看護ステーション

### はぎやま

東京都東村山市本町 4-7-14  
TEL. **042-396-7700**

指定居宅介護支援事業所

### はぎやま

東京都東村山市本町 4-7-14  
TEL. **042-391-3007**

### 三愛クリニック

東京都八王子市宮下町 377 番地  
TEL. **042-691-4111** (代表)

### さんあい 介護医療院

東京都八王子市宮下町 377 番地  
TEL. **042-691-4111** (代表)

### 三愛訪問看護 ステーション

東京都八王子市宮下町 377 番地  
TEL. **042-691-4131** (代表)

#### 編集委員 (法人広報委員会)

##### ■ 法人事業部

[業務室長] 浅野  
[DX 推進室長] 斎藤

##### ■ 久米川病院・介護老人保健施設久米川

[事務長] 八尋、[情報管理室長] 長岡  
[看護事務] 川合、[総務課] 川根、柴田

##### ■ 三愛クリニック・さんあい介護医療院

##### ■ 訪問看護ステーションはぎやま

##### ■ 三愛訪問看護ステーション

[コメディカル部長代理] 上利  
[総務係長] 野口、[総務課] 藤原

[事務] 小森

##### ■ 指定居宅介護支援事業所はぎやま

[事務] 本多

社会医療法人社団 愛有会

## 愛有会通信

■ 発行者 / 東京都東村山市本町4-7-14  
社会医療法人社団 愛有会  
TEL.042-390-2033  
<https://aiyukai-group.or.jp/>

# AIYUKAI

社会医療法人社団 愛有会

# 愛有会通信

令和7年1月 発行  
Vol.14  
通算 第233号

謹んで

新年のお慶びを

申し上げます

### 愛有会 基本理念

#### 1. 地域包括ケア

私たちは、医療・看護・介護・予防・生活支援のサービスを通じて、地域と共に安全で安心して暮らしていける街づくりに貢献します。

#### 2. 環境経営

私たちは、様々な環境への取り組みを責務と考え、職員全員で質の向上と環境負荷の低減に努めます。

#### 3. 健康経営

私たちは、職員の健康保持と共に働き方改革を推進し、多様な人材が向上心を持って働き続けられるよう努めます。

#### 4. 地域防災

私たちは、事業活動と地域社会活動を持続していくため、災害防止対策と災害時支援活動に地域と共に取り組みます。



# 新年あけまして おめでとうございます

社会医療法人社団 愛有会

理事長

## 阿部 真也

久米川病院 院長  
介護老人保健施設 久米川 施設長



私たち愛有会は、多くの皆様に支えられて、新しい年を迎えることができました。当初より一貫して救急医療に取り組んできましたが、その積み重ねが社会医療法人格へと繋がり、そして市の中心部にある都有地での事業認可へと導かれてきました。

現在の愛有会は、4つの理念のもとで事業を運営しています。

1つめは地域包括ケアを支えることです。この主な目的は、市民の在宅生活を守ることにあります。そのため、地域に求められる役割を把握し、関係機関と密接に連携しながら、救急医療・リハビリテーション・入所介護・在宅医療等を通じて広く対応できるように努めています。

2つめは環境経営です。病院・介護施設は、水・電気・ガスのみならず、医薬品からオムツまで多量に消費し、多量の廃棄物を排出します。そのため環境に与える負荷は大きく、その社会的責任は重大であることから、それらを減らすために毎日小さな活動を積み重ねています。

3つめは健康経営です。長寿社会の進行により、健康寿命という考えが認識されてきています。

人は心身の健康を保つことで、より楽しく充実した人生をおくることができます。働き盛りの年代は、様々なストレスにさらされ、そのストレスが生活習慣の乱れを引き起こし、その影響が年齢とともに現れてきます。就業期間中の健康管理と健康保持の大切さは、もっと強調され自覚されるべきと考えます。愛有会では第三者評価を取り入れて、様々な指標に沿って健康度の向上に取り組んでいます。

4つめは地域防災です。近年、地震・風水害・異常気象など自然災害による被害の増加がみられ、事業を営む者にとって災害時の事業継続への備えが必須となってきました。特に病院や介護施設は、多くの収容者の人命を守り、被災者の救援にあたる重要な役割を担うため、いざという時の地域の防災の拠点としてしっかり機能できるよう対策と訓練に務めています。

地域の成長・発展なくして愛有会の成長・発展はありません。これからも地域住民への安心・安全な医療と介護の提供を通じて、地域社会への貢献に務めてまいります。

## あけましておめでとうございます 法人事業部です



下段左より：浅野業務室室長、服部統括マネージャー  
上段左より：鈴木総務部長、永井会計部長  
斎藤DX推進室室長、及川DX推進室

**業務室**  
室長 浅野 孝幸

社会医療法人として地域貢献に繋がる事業推進に努力を重ねながら、更なる事業成長を可能とする財務基盤

**DX推進室**  
室長 斎藤 陽

システム基盤の整備も順調に進んでいますので、愛有会全体で有用なシステム導入、ITを活用した業務改善に取り組んで参ります。

**DX推進室**  
及川 龍晴

皆様が働きやすい場所、過ごしやすい場所と感じていただけるような環境づくりを目指して、誠心誠意努めてまいります。

**会計部門**  
部長 永井 美佐緒

主に会計部門において、業務改善、プロセスの構築に取り組み、愛有会の経営判断に貢献できるよう努めて参ります。

**総務部門**  
部長 鈴木 加代

地域の皆様、職員、関係する誰もが「愛有会があって良かった」と思ってもらえるよう職員のやりがいの向上に努め、健康経営に取り組みます。

昨年よりメンバーも増え、より一層職員の働きやすい環境づくりと経営基盤の強化に努め、地域住民の皆様が安心して暮らせる医療、介護事業に大きく貢献できるよう邁進致します。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

統括マネージャー 服部 智美



# 久米川病院

## 脊椎について

背骨には高度で重要な役割があります。

- ①体を支える支柱であること。
- ②脳から続く脊髄神経の容れ物としての役割。
- ③上記を果たしながら可動性を持つこと（前屈み、横ひねり動作）。

主に最初の 2 つの役割が日常生活の快適性に大きく関わっています。例えば、脊椎圧迫骨折は高齢化に伴いよくある骨折ですが、程度がひどくてうまく骨がくっつかない場合は支持性が損なわれ腰痛、背部痛の原因になります。今まで何箇所も骨折してしまい、かなり前屈みになってしまった（変形が高度）場合などは支持性に加えて脊髄神経の通り道が狭くなり、脊柱管狭窄症（休み休みでないと歩けない。足が痺れたり、重くなったり、感覚がおかしくなったりする）となります。

## 脊椎内視鏡手術について

従来の脊椎手術は、大きな創から中の筋肉を剥がし骨を削る必要があったため術後に強い痛みがありました。また、骨を削ることにより体重を支えるための支持性が損なわれてしまうことが問題でした。

内視鏡手術は、1cm の創から内視鏡を用いて病変部位にアプローチすることができるため、術後の痛みが劇的に軽減され、また正常組織を温存できます。

脊椎内視鏡手術は高度な技術を要しますが、椎間板ヘルニア（頸椎・腰椎）、脊柱管狭窄の除圧でも 1 箇所の場合は良い適応です。上記疾患の場合は術翌日に退院できることもあります。滑り症で固定術が必要な場合も、変形の程度がひどくなく 1 箇所であれば内視鏡下に固定術を行います。

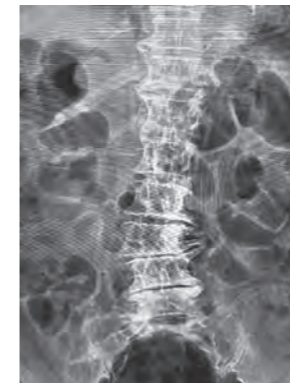


## 低侵襲手術（脊椎前方手術）について

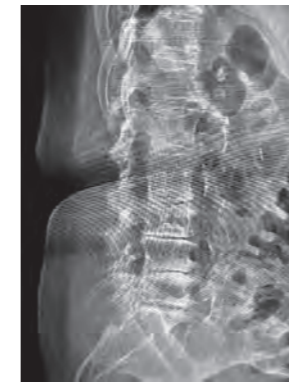
近年高齢化により広範囲にわたり背骨の変形が高度である場合が増えていきます。背骨の変形が高度であると、①②の機能が損なわれてしまいます。手術で治す場合、従来のやり方は後方から大きく切り、脊髄を避けて慎重にやりますが、出血が多く時間もかかり体にかかる負担が大きいため高齢者には手術ができないというジレンマがありました。低侵襲手術（脊椎前方手術）は、開創器や

手術手技の進歩により数センチの創から行えるため、組織をほとんど傷つけず、出血がほぼなく、大きなケージを挿入できることで曲がった背骨を矯正しやすいメリットがあります。日本に導入されてからまだ10年程の方法で、認定された施設のみで実施可能な術式です。

【術前レントゲン】



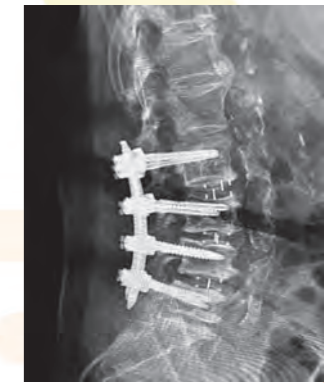
正面



側面



正面



側面

【術後レントゲン】

久米川病院では、脊椎診療および脊椎手術（内視鏡手術、低侵襲手術（脊椎前方手術）を含む）に力を入れて参ります。腰が痛い、足が痺れて力が入りにくい、休み休みでないと歩けないなどの症状がある方は是非一度受診されてみたらいかがでしょうか。

久米川病院	2024 年度 (10月現在)	2023 年度	2022 年度	2021 年度
全手術件数	208	292	178	85
脊椎手術件数	82	100	56	0

阿部 一雅 医局長【常勤】



外来日：月～水・金曜日 午前  
診療科：整形外科（膝・股関節疾患、脊椎脊髄疾患、一般整形外科）  
所属学会：日本整形外科学会、日本人工関節学会、日本股関節学会  
日本脊椎脊髄病学会

認定資格：日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会脊椎脊髄病医、  
難病指定医



# さんあい介護医療院・通所リハビリテーション 三愛クリニック・三愛訪問看護ステーション 障害福祉サービス短期入所（医療型）



院長 小野真一

## ご挨拶

新年あけましておめでとうございます。当院の院長を仰せつかって一年が経ちました。

この間、経管栄養後の臥床時間の減少を目指すべく、1日の総カロリー摂取量を減らさずに経管栄養を一日2回に変更。空床利用を生かした日帰り障害サービスの導入。経鼻経管チューブ挿入後の確認方法の改善。これらの導入により職場

環境・業務に大きな変化が有りました。比較的高い入所率で一年を終え、新年を迎えようとして

います。訪問診療もご依頼を頂けるようになりました。旧滝山街道から一步入った隠れ里のような施設ですが、近隣病院からご紹介を頂き、少しずつ認知度が上がり、当地域に根付いてきているように感じております。

現状維持は退化の始まりです。この状況に甘んじることなく、常に業務のブラッシュアップを考える視点と態度で臨んでゆきたいものです。記録を残し検証して行くことはもちろんですが、数値として表面的には良く見えても、その背景と本質を見失うと真の改善にはなりません。今後、さんあい介護医療院の「質の向上」を考えた時、ここに鍵があると考えております。それが入所者の方へ良い形でフィードバックされるようになれば最高です。焦る必要はないので、新年もそれぞれの持ち場で、一歩ずつでも良いので、前進できれば良いと願っております。本年も宜しくお祝い申し上げます。



謹賀新年



新年、明けましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になり、職員一同心よりお礼申し上げます。三愛訪問介護ステーションも、本年で3年目を迎えるようとしています。これもひとえにご利用者様をはじめ医療関係者様、事業所関係者様のご支援、ご愛顧の賜物と心から感謝しております。これまで、ご利用者様やその家族の方々との出会いの中で、私達がサービスを提供するばかりではなく、様々な人生経験を通して学ばせていただく機会も多く、人と人の関わりの大切さを改めて感じております。これからもスタッフ一同、微力ではありますが、地域の皆様に安心した生活を送っていただけるよう、さらなるサービス向上に努めて参りたいと思います。

本年も宜しくお祝い申し上げます。

【三愛訪問看護ステーション室長 中村洋子】



新年明けましておめでとうございます。

今年度当通所リハビリテーションは、開設より6年を迎えようとしています。ご利用者様やご家族、ケアマネジャーや関係事業所の皆様方の想いをリハビリという形でかなえていけるよう、日々取り組んでいます。

スタッフの元気も相成り、毎日フロアは賑わい活気に溢れています。今年度の事業計画の軸として、当たり前のことではありますが、利用者様個々のリハビリの質を高めていくことを挙げさせていただいております。しかし、リハビリの性質上、提供者側が頑張るだけでは成しえることのできない目標でもあります。

皆様の想いやご意見がとても重要であり、できる限りの対応力を持つことを今後も求めていきたいと思っております。

本年もよろしくお祝いいたします。

【通所リハビリテーション室長 山本匡彦】



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は地域の皆さまには当クリニックに多大なるご厚情を賜り心より御礼申し上げます。

『三愛クリニック』として再スタートを切り、早いもので3年が経過しました。クリニックでは特に在宅医療に力を入れ取り組んでおります。地域の皆様が安心してご自宅で暮らしていただけるよう、チームで一丸となってサポートさせていただきます。外来診療では、生活習慣病の管理および重症化予防に向け、薬剤師や管理栄養士と連携を図りながら、一人ひとりに合わせてアドバイスさせていただきます。今後とも地域の方々に寄り添い、皆様方により良い地域医療を提供できるよう努力してまいります。

本年の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

【三愛クリニック 看護課長 山本洋子】





## 訪問看護ステーション はぎやま

新年あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症についてはますます落ち着いた年でありました。「はぎやま」としては植込み型補助人工心臓を使用された方のご依頼があるなど、新しい分野にも挑戦しています。医学の進歩ってすごいですね！

今年は東村山市の「ステーション連絡会」主催の医師による講演会を年4回程度計画しております。ステーション全体でしっかりスキルアップしていきます！  
所長 佐野 みゆき

### 地震を想定した避難訓練を行いました！

近年大きな地震が日本各地で起きており、昨年1月の能登半島地震は記憶に新しく、命を守るための日頃からの準備・訓練の大切さを改めて感じています。

訪問看護ステーションはぎやまでも、災害時に事業が継続できるようBCPを策定していますが、いざという時にすぐに適切な行動がとれるよう、地震を想定した避難訓練を行いました。

看護師は通常通り訪問先を回り、地震想定時間（午後2時）になったらその場から無事であることを通信アプリ「LINE」で知らせます。災害時は電話やメールが繋がりにくくなるため、LINEを有効に活用することも大切な訓練です。事業所内にいる事務職員は倒れてくる物に気を付けながら避難路の確保を行い、揺れが落ち着いてから予め決めておいた避難場所まで移動。その際可能ならノートパソコンを持ち出すという手順です。これだけの簡単なことでも、いざ災害が起きれば慌てて外に飛び出しかねないため、繰り返し体に覚えこませることが大切だと思いました。通常業務を行いながらのため大々的な訓練は難しいのですが、今後も色々な被害想定の下訓練を行いたいと思います。  
災害対策委員 須崎 美香

### 植込み型補助人工心臓の勉強会を行いました

医療の進歩と共に、自宅療養をサポートする訪問看護に於いても常に新しく幅広い知識が必要となります。今回はその中でも専門的な知識や経験が必要となる植込み型補助人工心臓（VAD）について勉強会を行いました。

VADは心臓移植を待つ間の一時的な使用や、自宅での長期間の生活を目的に使用されます。在宅で過ごすには24時間付き添える介護者と地域医療のサポートが必要不可欠です。

しかし地域医療でのVADサポートの経験が少なく、地域医療スタッフの不安から受け入れが困難となっていることが課題となっています

訪問看護ステーションはぎやまではVADを使用される方の「自宅で過ごしたい」というニーズに応えるため、業者である「アボットメディカルジャパン」に協力していただき今回の勉強会を実施しました。

勉強会の知識を生かして質の高い生活を送れるよう利用者さんをサポートしていきます。

看護師 本間 泰徳



## 指定居宅介護支援事業所 はぎやま

新年あけましておめでとうございます。本年も地域の皆様方とより良い関係を築けるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。  
所長 高橋 佐知子

### 地域活動「むらの秋祭り」に参加しました♪

「気軽に集まれて相談できる場づくり」と「早めに相談してもらうことで介護度の重度化を予防する」ことを目的として 中部地区の居宅介護支援事業所が協力している「ほんちようカフェ」ですが、はぎやまのケアマネージャーももちろん活動に参加しています。今年は「社会福祉法人村山苑」主催で毎年行われる「むらの秋祭り」の一角をお借りして、お祭りのブースを出して参加させていただきました。カーリングゲーム、ハーバリウムづくりコーナーなど、参加している子供や保護者の方々に楽しんでいただきました。介護への関心を持ってもらうため、基幹型包括の方が用意してくれた介護相談のパンフレットや、ヘルパー募集のチラシなどもお渡しできました。

メインの出し物は、大学生ボランティアによるダブルダッチ（2本で回す大縄跳びのようなもの）でした。ケバブや黒焼きそばのキッチンカー、綿あめなどの多彩な屋台なども出店されました。



「フリーな場所・みんなが集まれる場所」＝「ふりば」をコンセプトに開催され、文字通りたくさんの皆さんに集まっていただき大盛況でした。

ケアマネージャー 立石 あさひ



ハーバリウムとはドライフラワーなどをガラスの容器に入れ、専用のオイルに浸して作るインテリアです

### ホームページをリニューアルしました♪

訪問看護ステーションはぎやまと指定居宅介護支援事業所はぎやまのホームページをリニューアルしました！

知りたい情報を分かりやすく検索できるよう、更新してまいります。是非一度覗いてみてください。

<https://aiyukai-group.or.jp/hagiyama/>

QRコードからもご覧いただけます







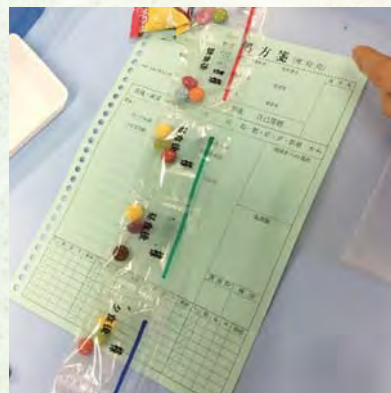
## 地域交流活動 紹介



# 久米川病院

### 中学生職場体験

コロナ禍で実施されていなかった東村山市内の中学生の職場体験が再開されました。当院でも中学生の将来の職業の選択肢に医療現場を選んでもらえるように体験の受け入れに手を上げました。当日は病院・老健に関わる全部署を見学・体験してもらいました。体験に来ていた中学生は全員看護師を目指しているとのことでした。患者さんや利用者さんとお話をしたり、仕事の体験をしながら多くのことが学べたようで、後日お礼状も頂きました。中学生のキラキラした目に、患者さん利用者さんも多くの刺激と元気をもらい、若い子達のパワーを感じた二日間となりました。



### 創価大学看護学生受け入れ

昨年度より2年生の実習の受け入れを開始していましたが、今年度より2.3.4年生の実習の受け入れを本格的に開始しました。移転後学生さんの受け入れは初めてだったこともあり、自分の看護学生時代を思い出しながら、実りの多い実習になるように担当の先生とミーティングを重ね受け入れを開始しています。

指導者として、伝えることの難しさや、教科書で学べない患者さんの個性、ケアの手順等、学生さんたちとのやり取りの中で私たちが日々勉強です。素敵な看護師になってもらいたい!

看護部長 横尾 藍



## さんあい介護医療院



大横福祉センター  
健康づくりサポーターフォロー講座



一誠会 第6回地域交流会  
「在宅医療の現状と介護施設」講演

令和6年度(2024年度)	本日のプログラム
<b>第1回 加住中学校区 地域づくり推進会議</b>  令和6年(2024年)9月14日(土) 9:30~12:00 加住市民センター	9:30~
	1 地域づくり推進会議とは
	2 自己紹介
	3 創価大学との連携について
	11:00~
	4 グループワーク
5 今後の進め方について	
6 シェアの時間	

地域イベント  
地域づくり推進会議



町内会イベント  
(左) 盆踊り・(右) キャンプファイヤー



健康フェア  
食楽についての講演



介護フェア  
(左) 利用者様の作品を展示・(右) さんあいバンド

当院は地域交流に関して加住地区を中心に活動しており、上記の通り各種イベントに参加させていただいております。中でも【さんあいバンド】という楽器演奏のチームがあり、結成時はなんとか演奏をしていた印象でしたが、今では演奏出来るレパートリーも増えて上達しました。地域の皆様には今後の成長を見ていただきつつ、各種イベントに参加した際には多くの声援をお願いいたします。